

開講科目名 / Course	養護実習事前事後指導	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 3 学期 / Third	
開講区分 / semester offered	3 学期 / Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	吉村 匠平	
担当教員名 / Instructor	関根 剛、吉村 匠平	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	事前指導：まず、実習校を事前訪問し打ち合わせを行う。次に、学校ホームページに記載された内容や学校要項を参考に、実習校の概要を調べる。その上で、具体的で評価が可能な、実習における行動目標を立案する。 事後指導：実習での体験を学生同士で交流し合う活動を通し、実習での学びを深める。自分が立案した実習行動目標に沿って、自らの実習を評価する。	
到達目標	1. 実習校の概要を説明することができる。 2. 具体的で評価可能な実習行動目標を立案する。 3. 実習中に体験した事象を、実習記録として、具体的に記載する。 4. 事前に設定した行動目標に沿って、自分の実習を評価する。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. オリエンテーション 02. 実習校事前訪問 03. 4年次履修生との交流を通じた養護実習の理解 04. 実習目標の作成（死人テスト、具体性テストによるチェック） 05. 養護実習の振り返り（PCAGIP法を用いた理解の深化） 06. 構成的エンカウンターグループの理解 07. 新大分スタンダードに基づく授業展開の理解 08. 生徒指導の3機能を活かした授業展開の理解	
その他の授業の工夫	・履修者同士がペアを組み、相互に批評し合う時間を設ける。 ・異学年の教職課程履修生との交流の機会を提供する（時間割上可能な場合）。	
時間外学修	・実習校のホームページ、事前訪問で収集した要項に基づき、実習校の概要をまとめる（5h）。 ・実習における具体的な行動目標を策定する（5h）。 ・場面指導案を作成し、模擬授業の準備をする（6h）。 ・エンカウンターグループのエクササイズの実施準備をする（6h）。	
評価方法と評価割合	実習日誌の記載内容（目標設定など、60%）、授業中に提示する課題（20%）、参加状況（発言、グループ活動への参加状況など、20%）で判断する。	
テキスト	なし	
参考書	改訂 養護実習ハンドブック（東山書房）	
履修する上で必要な要件		
その他	みなさんが体験する初めての学校での実習になります。学校という実習の場を体験することは、皆さんがこれまで体験した看護学の実習の学びを、さらに深める良いきっかけにもなるはずです。いろいろなことに、驚き、興味を持ち、疑問を感じてください。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	吉村匠平：公認心理士、学校心理士 関根剛：臨床心理士
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	教育現場で課題となる児童虐待、発達障害、保護者への対応などについて、事例を紹介する。	